



琴清苑だより



発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第27号



青梅市日向和田 明白院の枝垂れ桜 (撮影 小川生活相談員)



ごあいさつ

双葉会診療所 片倉和彦

今年のお知らせ



小さいころ、父母が小さな畑を耕しているのを見て、何が面白いのだろうと思っていた。三年前、家の烏骨鶏(ウコッケイ)がミミズを喜ぶので、裏の空き地を掘り返しているうちに、小さな畑になった。これが面白い。草取りをサボってもできる作物がいい。じゃがいもは勢いがあれば雑草に負けない。薩摩芋は雑草が生えてこない。えんどう豆はうまく冬を越せば伸びているため雑草に負けない。小松菜や野沢菜はそもそも育ちがいいので雑草に負けない。かぼちゃも強い。

手入れや草取りや間引きをさぼっているので、緑芋ができたり、木の芯にじんができたり、ほうれん草が雑草に負けて消えたりする。雑草と間違つて山芋を抜いてしまったり、キバナコスモスをトマトの苗と間違つて大事に育てたときは、妻に呆れられた。収穫もサボるので、ジャンボきゅうり、おぼけナス、下に落ちて芽を出すミニトマト、固くなった大えんどう、大インゲン、などが収穫できる。白菜、野沢菜、のらぼう、春菊、すべて花芽となる。

狸、猿、ハクビシンもご用達。サツマイモをどってそこにうんこをしていきやがった。どうもるこしを食べ散らかしていった妻は私が食べて捨てたと誤解した。

月刊「現代農業」を見ながら今年の種を考える。サラダかぼちゃのコーリンキー、ミニカボチャのアラジン、魅惑のコーンゴールドラッシュ、ミニトマト「マイコ」、など。

実はめんどくさがりなので、このまま畑が凍り付いていてもいいのだが、残念ながらだんだん暖かくなってきてしまった。

琴清苑事業計画

経営方針

今年度4月の介護報酬引下げについては、昨年10月に-4%とした為、これ以上の引下げは施設経営の影響が大きいと判断され、特別養護老人ホーム等施設サービスへの報酬は据え置くことが決定されていました。しかし、ユニット型個室と多床室との報酬水準が見直され、ユニット型の増額、多床室の減額（20単位/日：200円/日）が決定し、当法人のようにすべての居室が多床室扱いの法人においては、2000万円程度の減収となり実質的には介護報酬の引下げとなっています。このように施設経営が非常に厳しくなる中、開設後28年を経過した施設設備の老朽化対策・施設の改築計画の具体的立案といった諸問題を抱え、全職員が協力し、より一層の経営努力に努め、この変革期を乗り切りたいと考えています。

利用者へのサービス面については、個別ケアの推進・重度化への対応を推し進めているところですが、昨年施行された介護報酬単価の減額を受け、職員配置の効率的活用を模索しているところであり、サービスの低下をきたさないよう介護体制の見直し・再構築を推進します。また、情報開示・職員の安定雇用・職員の資質の向上については、積極的に取り組むとともに、継続雇用制度の導入・介護サービス情報の公表・第三者評価の導入・苦情処理体制についても施設の実態に則した形での充実を図っていきます。

1 重点目標

I 介護保険制度化での安定した経営

介護職員としての自覚、継続雇用制度の導入、パート職員の効率的利用、コスト意識の徹底、業務内容の見直しを検討、協議しながら業務の展開を図ります。

II 職員の資質の向上と情報開示

介護サービスの質の向上に向けた意識改革を徹底する為に、各委員会機能の充実を図る。ホームページ掲載事項の見直しを行い、介護情報サービスの公表等情報の開示に努めます。

III 法人の理念である「心の福祉」の実践とチームワークの強化

人間的なふれあいの中での処遇が実践できるよう介護体制の見直しを行います。専門職としてのプロ意識の徹底を図ります。目的達成の為の協力体制の確立に努めます。

2 年間施設整備計画

- (1) 浄化槽設備改修工事【老朽劣化による改修・移行時特別積立金取崩事業】
- (2) ハイ・ローベッドの購入（5台）【個別処遇の向上・移行時特別積立金取崩事業】
- (3) 軽自動車の車輛交換（ワゴンR：4WD）【耐用期間超過・移行時特別積立金取崩事業】

琴清苑当初予算

資金収支計算書(当初予算)		
勘定科目		琴清苑会計
経常活動収入計①		360,865,000
経常活動支出計②		344,186,000
経常活動資金収支差額③(①-②)		16,679,000
施設整備等収入計④		0
施設整備等支出計⑤		3,210,000
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)		-3,210,000
財務活動等収入⑦		7,234,000
財務活動等支出⑧		0
財務活動等資金収支差額⑨(⑦-⑧)		7,234,000
予備費⑩		20,703,000
当期資金収支差額合計⑪(③+⑥+⑨-⑩)		0
前期末支払資金残高⑫		126,002,677
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)		126,002,677



平成十八年一月一日

新年の挨拶

今月も理事長をはじめ、施設の職員、利用者さんがつどい新年の挨拶がおこなわれました。利用者の代表者が理事長へ花束を贈呈され、とても喜んで頂きました。また、琴清苑の敷え唄をうたい皆さんで新年を祝いました。



カルタ大会

今年のカルタ大会は、女性の利用者の皆さんの活躍が目立ちました。女性陣の勢いに押され気味の男性利用者を応援するあまり、職員が熱くなる一面も見られ、正月早々大変盛り上がった一時でした。



正月の三ヶ日は特別料理でいつもより豪華な料理になります。

餅つき大会

1月18日に昼食会を兼ねて、餅つき大会が行われました。多くの利用者が参加し、小沢苑長がつき手になり、杉山介護職員の手返しのもとに、息の合った餅つきが行われました。利用者はずき立ての餅を、胡麻・あんこ・きな粉・納豆にからめて召し上がり、おかわりをされる方もおりました。



節分

2月3日節分の日に、豆まきが行われました。利用者の年女と年男の方が巫女と袴姿に扮し、各居室を回り、赤鬼と青鬼にめがけて豆をまきました。今年の健康を祈り、笑顔で豆をまいたり、美味しそくに食べている利用者の方もおられ、楽しい一時を過ごされました。



ドクター中野の星のおはなし №20

二十四節気・雑節の意味

季節は太陽の方向でおおよそ見当がつく。これを知るため、太陽のすすむ黄道上、春分の日を0°とし、15°きざみ24分割区切りの良いところで太陽がさしかかったとき、その頃の気象条件に適した言葉が二十四節気である。正しくは二十四気とも言う。

月の満ち欠けを基準としていたころの時代は季節と月とのズレが多く、二十四節気を併用したといわれるが、現在では日付の修正もなく季節のずれもないといわれる。ただこの二十四節気は中国より伝来したとされているが全世界での応用は無理である。南半球、熱帯等では役立たぬ項目も多い。さらに北極ともなれば半年は太陽は地平線下で半年は昇らないことになる。日本でも北と南でかなり違って来る。

秋分・春分の日の日と夜の長さは同じかといえ天文学では「否」という。日の出・日の入りの定義では「日の出」は「太陽の上縁が地平線と一致する瞬間」であり、日の入りは「太陽が全部沈みきった瞬間のこと」である。他に大気の影響で多少浮き上がって見える等の理由で東京の場合昼が16～18分ほど長い。昼夜が同じになる日は春分の3、4日前、秋分の3、4日後という。

雑節中、土用は4回ある。「土用丑の日」でうなぎを食べるが、江戸時代の人にはビタミン不足だったのだという人もいる。

八十八夜・二百十日は日本独特。しかし近頃のように地球の季節変動、地震等々、二十四節気季節語として以外あまり意味はないかもしれない。

名称	読み	太陽緯度	月日	
小寒	しょうかん	285°	1月5日	寒の入り、寒くなり始め
大寒	たいかん	300°	1月20日	一年で最も寒い
立春	りっしゅん	315°	2月4日	寒いがは春始まる
雨水	うすい	330°	2月18日	雪解け始め草木芽吹く
啓蟄	けいちつ	345°	3月5日	地中の虫出始める
春分	しゅんぶん	0°	3月20日	太陽赤道と昼夜ほぼ同じ
清明	せいめい	15°	4月5日	万物清新、生き生き
穀雨	こくう	30°	4月20日	春雨目盛をうるおす
立夏	りっか	45°	5月5日	野山新緑、夏の気配
小満	しょうまん	60°	5月21日	好陽気、草木良く生育
芒種	ぼうしゅ	75°	6月5日	稲・麦等とげのある穀物種まき
夏至	げし	90°	6月21日	日の出より入りまで時間最長
小暑	しょうしょ	105°	7月7日	近く梅雨明け曇りの始め
大暑	たいしょ	120°	7月23日	一年で最も暑い
立秋	りっしゅう	135°	8月7日	暑いが秋の気配
処暑	しょしょ	150°	8月23日	暑さ峠を越え涼しくなる
白露	はくろ	165°	9月7日	草木の葉、露に露着る
秋分	しゅうぶん	180°	9月23日	昼夜ほぼ等しい
寒露	かんろ	195°	10月8日	露寒さで凍る
霜降	そうこう	210°	10月23日	朝寒強盛、霜おきはじめる
立冬	りっとう	225°	11月7日	冬になる寒さつめる
小雪	しょうせつ	240°	11月22日	雨、雪に変わる。冷え込み
大雪	たいせつ	255°	12月7日	山で雪積もり始める
冬至	とうじ	270°	12月22日	年を通り昼時間最短

雑節

名称	太陽緯度	月日	
冬の土用	29°	1月17日	冬の終わりの18～19日 立春前日まで
春の土用	2°	4月17日	春の終わり 立夏前日まで
夏の土用	11°	7月20日	夏の終わり 立秋前日まで
秋の土用	20°	10月20日	秋の終わり 立冬前日まで
春の彼岸		3月17日	春分の日を中日として前後3日ずつの7日間
秋の彼岸		9月20日	秋分の日を中日として前後3日ずつの7日間
入梅	80°	6月11日	梅雨期に入る日、約1ヶ月続く
半夏生	100°	7月2日	夏至より11日、梅雨明け、田植え
八十八夜		8月2日	立春から88日目、茶摘み
二百十日		9月1日	立春から210日目、台風
節分		2月3日	立春・立夏・立秋・立冬の前日 何れも季節の変わり目を示す。

☆ 半夏生(はんげしょう)はカラシビシヤウという雑草が生える頃(用語辞典)

編集後記

梅の花が咲くと追いかけるように桜の季節になります。老若男女、日本人は桜が好きと見えて桜の花を歌ったものがたくさんありますね。歌を口ずさみながら花街道を行き交うと心がうきうきします。ぜひお出かけください。



ボランティア状況(1月～3月)
(敬称略)

シート交換
杉山 初
指圧奉仕
奥多摩奉仕会



入苑された利用者(1月～3月)

1月	立川市	1名
1月	世田谷区	1名
1月	調布市	1名
1月	練馬区	1名
2月	足立区	1名
2月	練馬区	1名
3月	日野市	2名

行事予定

4月8日	花祭り
3月9日	お花見
3月21日	昼食会
3月19日	昼食会
5月5日	全館清掃
6月5日	全館清掃
6月16日	昼食会

